

【11月8日（月）zoom朝礼のお話】

全校のみなさん、おはようございます。

11月1日に、5年生は日帰りの野外活動に行きました。美浜少年自然の家で、飯ごうを使ってかまどでご飯を炊き、温めたレトルトカレーをかけて昼食を作ったり、一刀彫のクラフト活動に取り組み作品づくりをしたりしました。学校以外での場所での学習に、しっかりと取り組むことができました。特に、飯ごう炊き後の片づけは、職員の方にもほめていただくくらい、しっかりとできました。素晴らしいと思います。

また、そのほかの学年も、それぞれ社会見学に出かけて、バスの中での過ごし方や見学地での約束の守り方、行動の仕方など、学校以外の場所に出かけて学習に取り組んでいますね。

新型コロナウイルスの感染拡大も少し落ち着いた今、まさに「実りの秋」にふさわしい活動が始まっています。

今日は、「きく」という言葉についてお話をしたいと思います。

1年生の人たちはまだ漢字を習っていないので分からないかもしれませんが、みなさんは、「きく」という言葉を聞くと、どんな漢字が思い浮かびますか？

真っ先にこの「聞く」という漢字が思い浮かんだ人が多いかもしれませんね。これは、まさに「音を耳できく」という意味です。例えば、お買い物をしているときに流れている音楽や、他の人が見ているテレビの音声などを聞くときは、この「聞く」という漢字を使います。

では、学校の授業中に先生がする話や、友達が発言している意見をきくときはどうでしょう？先生は、そんな時にはこの漢字の「聴く」のようにしてほしいと思います。この「聴く」は、どんな意味があるのでしょうか？

この「聴く」という漢字をよく見てください。まず、ここに「耳」という字がありますね。耳を使わないと音を聞くことはできません。でも、もっとよく見てください。あと2つ使ってほしいものが書かれています。「耳」に＋（プラス）して、この部分をよく見てください。どんな漢字が見つかりましたか？「四」とみえる人もいますね。でも、向きを変えてみると……そうです！「目」という漢字があります。人の話を聞くときは、その人の方を見たり、口元に注目したりして、目も使ってほしいのです。そしてもう一つ。その下はどうでしょう？「心」という字がありますね。この「聴く」という意味は、「耳と目と心を使って、しっかりと理解できるように聞く」ということです。授業中、ぼんやりと先生のお話や友達の意見を耳だけで聞いていては、理解が不十分になります。話している人に目と心を向けて、しっかりと耳で聞くようにすると、内容や勉強もしっかりと理解ができるようになると思います。

今日から、大切なことはこの「聴く」の聞き方で、たくさんのことを吸収してほしいと思います。「実りの秋」です、食べ物だけでなく勉強も運動も読書も、いろいろな実りがたくさんある秋にしましょう。

木々も少しずつ色づいて、秋が本番になってきました。朝晩はかなり冷え込みが強くなってきました。こまめに上着で調整をして、風邪をひかないように元気に過ごしましょう。先生のお話を終わります。